豊田	工業高等	専門学校	開講年度 令和05年度 (20		2023年度)	授業科	目 上級英語表現					
科目基礎情報												
科目番号		90014			科目区分		/ 選択					
授業形態		講義			単位の種別と単位		弾位: 2					
開設学科開設期		情報科学	导以		対象学年 週時間数	· 専2 2						
教科書/教材		1	吾で学ぶ国際理解	(改訂版) (三修社	/C 31-3221							
担当教員		山田 慶太			,							
(ア) テーマに関する情報を英語で正確に聞き取ることができる。 (イ) テーマに関する情報を基に英語で自身の考えを適切に発信することができる。 (ウ) テーマに関する情報を英語で正確に読み取ることができる。 (エ) 積極的に自身の考えを発信しようとする。												
ルーブリ	ック				_							
			理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レク		未到達レベルの目安					
評価項目			聴解・読解を通してテーマに関する情報を正確に把握することができる。		教員の助言を聞き 読解を通してテー を把握することが	-マに関する		英文を理解することができない。				
評価項目			テーマに関する情報について自身 の考えを口頭で具体的に伝えるこ とができる。		教員の助言を聞きながら、テーマ に関する情報について自身の考え を口頭で具体的に伝えることがで きる。		考え ナーマに関する情報について	テーマに関する情報について自身 の考えを口頭で具体的に伝えるこ とができない。				
評価項目			テーマに関する情報について自身 の考えを書いて具体的にまとめる ことができる。		教員の助言を聞る に関する情報にで を書いて具体的に できる。	ついて自身の	考え ナーくに送りる消粉にづいて	テーマに関する情報について自身 の考えを書いて具体的にまとめる ことがでない。				
学科の到	達目標項	目との関	係				·					
JABEE f 論	JABEE a 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養 JABEE f 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 本校教育目標 ④ コミュニケーション能力											
教育方法												
概要		の考えを	交流させることで	、英語運用能力を高	め、地球市民とし	ての意識を高						
授業の進め	方・方法	授業では 他者と意 をする。	教科書や関連する資料の英文を読んだり、聴いたりすることで理解し、トピックについての考えを発表し、 見交換を行う場面を設定する。積極的に他者と交流する姿勢が望まれる。予習の方法については授業内で説明									
注意点		ついては	、課題、試験の結	辞書も可)を持参す 果、とともに授業内	ること。決められ;]での参加について:	た期日まで <i>の</i> も重視する。	課題(レポート)提出を求める。評	価に				
		旧カリ科	目名									
授業の属性・履修上の区分			T		T		T					
☑ アクティブラーニング			□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応	γ.	□ 実務経験のある教員による	□ 実務経験のある教員による授業				
	i											
汉未可巴		週				週ごとの到達						
	1stQ 2ndQ	1週	固定観念と人種差	別		トピックについて英文の内容を理解し、自身のき 持つとともに他者と意見交換することができる。						
		2週	情報と通信			トピックにて 持つとともに	Dいて英文の内容を理解し、自身の考 □他者と意見交換することができる。	えを				
前期		3週	文化とファッショ	ン		トピックについて英文の内容を理解し、自身の考 持つとともに他者と意見交換することができる。						
		4週	朝食を抜くことに	よる健康被害		トピックについて英文の内容を理解し、自身の考え 持つとともに他者と意見交換することができる。						
		5週	食べ物は大切			トピックについて英文の内容を理解し、自身の考え持つとともに他者と意見交換することができる。						
		6週	循環型社会			持つとともに	トピックについて英文の内容を理解し、自身の考えな 寺つとともに他者と意見交換することができる。					
			地球温暖化			持つとともに	ピックについて英文の内容を理解し、自身の考えを ○とともに他者と意見交換することができる。 ピックについて英文の内容を理解し、自身の考えを					
		8週	エネルギー問題			持つとともに	等つとともに他者と意見交換することができる。 トピックについて英文の内容を理解し、自身の考えを					
		9週	生態系と人間			持つとともに他者と意見交換することができる。 トピックについて英文の内容を理解し、自身の考えを						
			絶滅危惧種 国際関係			持つとともに他者と意見交換することができる。 トピックについて英文の内容を理解し、自身の考えを						
		. —	国際関係 戦争と平和			持つとともに他者と意見交換することができる。 トピックについて英文の内容を理解し、自身の考える						
		13週	戦争○平和 			持つとともに他者と意見交換することができる。 トピックについて英文の内容を理解し、自身の考えを						
						持つとともに他者と意見交換することができる。						
		14週	地球市民		トピックについて英文の内容を理解し、自身の考えを 持つとともに他者と意見交換することができる。							

		15週	まと	まとめ(発表活動)			これまで扱ったトピックについて振り返り、自身の考えを発表し、他者と意見交換することができる。				
		16週									
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標											
分類		分野	分野 学習内容 学習内容の到達目標			<u> </u>			到達レベル	授業週	
評価割合											
			定	定期試験		課題合調		合計			
総合評価割合			50	50		50 100		100			
分野横断的能力			50	50		50 100		100			